

会 議 録

会議の名称		第 14 回（仮称）研究学園小学校、研究学園中学校 開校準備委員会		
開催日時		令和 4 年 8 月 30 日（火） 開会 18：30 閉会 20：30		
開催場所		つくば市役所 2階 職員研修室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	稲川綾子、橋本恭子、小泉悠、相澤健太郎、野尻敏弘 富岡暁子、槇幸子、横田瑞香、中原卓治、澤木努 松延亮一、稲葉恭子		
	事務局	教育施設課係長草間匡人、学び推進課課長補佐岡野正人 学務課課長下田裕久、学務課課長補佐川又文江 学務課主任篠原周平、学務課主事霜鳥壮彦		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 制服アンケートについて (2) 体操服アンケートについて		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 制服アンケートについて (2) 体操服アンケート 3 その他 4 閉 会			

< 審議内容 >

1 開会

事務局：ただ今から第 14 回（仮称）研究学園小学校、中学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前に事務局からお願いとなりますが、本日の委員会は AI により議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、御発言の際は必ずマイクを御使用くださいますようお願いいたします。マイク下のスイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくお願いいたします。

2 議事

事務局：それでは、これより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

委員長：皆さんこんばんは。今日もよろしくお願いいたします。今日もよろしくお願いいたします。まず、傍聴の方はいらっしゃるでしょうか。

事務局：本日傍聴の方はいらっしゃいません。

委員長：はい、わかりました。では早速議事に入っていきたいと思いますが、まずアンケートの方法ですかね、こちら事務局の方からご説明をお願いします。

事務局：はい。お手元に右上に資料 1 と書いてある制服・体操服アンケート案という資料の方をご覧ください。こちらの方が事務局の方で作らせていただいたアンケートの素案になります。展示場所につきましては、学園の森義務教育学校さんと事前に調整させていただきまして、学校内の多目的室の方に展示をさせていただく予定です。実施期間の案としまして 9 月 6 日火曜日から 14 日水曜日、土日除くとさせていただいております。9 時から 17 時というところで設定させていただいております。回答方法につきましては、児童生徒は実際にアンケート用紙に自立で書いていただいて、回収ボックスに投函というところを予定しております。保護者は GoogleForm による電子の回答を想定しております。質問項目につきましては、制服は

3点の中から1点を選択する設問と、校章はワッペンを付けるかどうかといった設問の方を用意したいと思っております。また体操服につきましては、ジャージ・ハーフパンツを2点の中から1点を選択いただいて、またファイテンを付けるか付けないかといったところを選択という形になっております。ファイテンの有無については、事務局としては保護者のみの回答でと考えております。今回、この後体操服のメーカーさんいらっしゃいますけれども、今回バックプリントは3点ほど案をご用意いただいております。こちら今回のアンケートの方で、3点の中で1点選ぶような形の設問を用意してはどうかというふうに考えております。通知方法につきましては、児童生徒は担任の先生からお知らせいただきまして、保護者はスクリレ、緊急メールにてお知らせをしたいというふうに思っております。資料1の説明については以上でございます。

委員長：はい、説明ありがとうございました。アンケートの内容の議論は一旦あれですかね、制服のご説明とか受けてから議論した方がいいですかね。はい、わかりました。じゃあ、メーカーさんから説明をしてもらおう形ですか。メーカーさん、今回のわざわざありがとうございます。

明石：よろしくお願いいたします。

委員長：ではよろしくお願いいたします。

明石：はい。ではそのアンケートに基づいてなんですけど前回の委員会で決まった、その3パターンでその中から今回はネクタイとリボンの方をちょっとリニューアルというか、こういうのもどうでしょうかということで、持ってきました。この3体とも前回から違うものを付けています。まずあの一番手前、向かって左側ですね。最初はこちらのものが付いていたんですけど、はい。これをもうちょっと中学生らしく若々しくってということで、前回もお持ちしてたものではあるんですが、ちょっと明るめの襟元に変えてみました。次いで2つ目ですね。前回紺ベースの、このいわゆるストラ

イプの水色というのが1つのイメージカラーでもあったのでこれを付けていたんですけど、ボトムがグレーですので、グレーの部分と合わせて、あと中学校らしくというところで若々しいピンクがレジメンで入った形のもの。一番右側が最初は赤ベースのものが付いていたんですけど、ここも躍動感というか、いろんな意味も含めて右に上がるっていうそのストライプからのものをちょっと紺ベースのものに変えてみたんですけど、ここも含めて、まずそれぞれ前のものでいくか、今回私たちがご用意させてもらったこの明るめの変えたやつでいくか、それぞれ皆さんご意見を伺えればと思います。まずそこが1つですね。あともう1つ、これはまたデザインが決まってからのでも問題ないんですけどもボタンですね、ボタンのCGを皆様のところ配布させていただきました。こちらはエンブレムとかワッペンが付く、付かないにもよるんですけど、一応そのKGという研究学園というロゴでシンプルなもの、そして、伸びゆくっていうところをイメージした月桂樹付きのもの。それと一番右側がその校章に入っているモチーフのふくろうですね。それと開校年度を入れたものっていうことでちょっと3パターン作ってみました。エンブレムが仮に付かないとなった場合には、その学校のモチーフでもあるこのふくろうをボタンに入れてもいいのかなとも思いましたし、エンブレムが付くよということであれば、KGのロゴをつけてもいいのかなと思ったので、その辺は決まってからのことでいいかなと思います。はい、ということでまずはこの3プランの中のネクタイ・リボンの組み合わせ、ご意見伺えればと思いますが、いかがでしょうか。

委員長：はい、ご説明ありがとうございます。その前に、資料2はどちらが準備していただきましたか。事務局ですか。

事務局：はい。資料2の方は事務局の方でご用意させていただきまして、前回の委員会の中で、近隣の学校の制服というところで、春日学園義務教育学校とみどりの学園義務教育学校の制服をお示しさせていただいております。

す。

委員長：はい、ありがとうございます。資料2、近隣校と見比べて、また今日お持ちいただいた3点の制服を見た上で、本当に3点で、1つのアンケートにするのか、それとも微修正かけてそうするのか。その辺について今までのご説明に対しての質疑とかあれば、皆さんお願いできればと思いますけれどもいかがでしょうか。1回元に戻してみますか。特にはいいんではないですかね。どうでしょうか。はい。何か戻して見たいとかっていうことがあれば、ぜひ発言いただければと思いますけどどうでしょうか。

明石：私たちもいろいろその後も勉強して、特に真ん中のプランですね。やはりグレーのボトムにチェックのラインって結構やっぱ中学生にも人気で、決まりやすい柄ではあるんですけど、最初に付いていた、これが若干春日に寄るかなという思いがありまして、それでもうベースの色をそもそもグレーにして上下の調和をとったほうがいいかなと思って、こういう変換をしてみました。

委員長：はい。今、発言いただきましたけども、この写真で見ると左手の制服、資料2の左手が真ん中の春日とすごく似ているように見えちゃうんですね。写真が多分解像度が悪いので、横並びで見るとちょっと違うのかもしれないんですけどその辺って実際に直接見比べてどうですか。

明石：スカートのピッチとか細かいことを言えば、実は違うんですけども、やはりなかなか普段その制服に触れない部分でいうと、やっぱり一緒に見えちゃうっていうのは正直あると思います。なので、あとは襟元、仮に今回のこのプランで決まったらすればネクタイをもうちょっと、変えるとか、そういったところもできるかなと思うんですが、まずベースを選ぶっていうのがまず1つだと思いますので、そこからですかね。

委員長：はい。あと、春日の男性用が逆に一番右端に近いような気もしないじゃないですけどこの辺はプロの目から見てどうなんですか。

明石：一応似ていないでいで組んでみたんですけど、どうでしょうね皆さん、似てしまいますか。

委員長：何か変更する点があれば、どうでしょう先生たちが一番気にされたのは近隣校で混在してわかりにくいというところが一番気にされていたと思うんですけども、そういう意味では、真ん中のところが、女子用っていう意味ではかなり似ているので、方法論としては真ん中外して2つの案でアンケートを採って決めるとかっていうものもあることあると思うんですけども、その辺いかがでしょうか。

委員：ブレザータイプということである以上、やっぱりどうしても似てしまうので、あまり細かいところまでは申し上げるつもりはありません。今、拝見しまして、こうかなりネクタイでこう区別化されていますので、あとはアンケートを採ってみて、意見を集められればなというふうに思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。一応学校側はそういう意見いただいているのでそこまで気にはしなくていいのかなといったところですけども。はい、お願いします。

委員：やり方として何かネクタイに引っ張られてブレザーとスカートが決められてしまうっていうのはちょっとどうかなっていうのがあって、さっきの意見とかも踏まえると、1つのやり方として、ネクタイ外した状態でアンケートを採って、ブレザー・スカートをまず決めて、別途ネクタイを決めるっていう、ネクタイとブレザー・スカートを分離するっていうような決め方があると思うんですけど、ただ、やっぱりプロとしてベストマッチを考えていただいたんで、それも当然大事にしたいんですけど、どちらがいいのかなっていうのをちょっと思っています。

委員長：はい、お願いします。

委員：今おっしゃった意見が私もいいなと思っていて、結構、子どもたちはチ

チェックのスカートが良くて、赤いリボンが良くてって、もうセットでこう出してしまうと何かその辺が逆にこうバラバラにした方がうまく組み合わせられるんじゃないかなと思っていて、あとは確かにプロの方がセットで作ってくださっているっていうところはあるんですけども、まだこの服装規定の部分というのは、学校の方でも今検討していただいているところだとは思いますが、やっぱり多様性というところを重要視したいという気持ちはまだ私の中で変わってなくて、そうすると、チェックのスカート履いてくる子も出てきます。チェックじゃない子も出てきますし、グレーだったり、そういうブレザーを基準にみんなスカートやブラウスの部分を変えてくると思うので、そういった意味では、あまりこのセットのプロの方が選んでくれたこの基本系っていうところにこだわりすぎなくてもいいかなとちょっと感じてはおります。

委員長：はい、ありがとうございました。メーカーさんに確認ですけども、ネクタイはまだ時間的余地はあると考えてよかったでしたか。

明石：できればというか、中学校って採寸が早いんですね、場合によっては11月、12月から始まってしまうので、できれば9月中にはネクタイ・リボンも含めてですね、特にジャケットの生地は、前回で決まったので大丈夫なんですけど、ボトムですね。もう14日とかその辺までには決めておきたいっていうのが正直なところです。

委員長：はい。例えばですけど事務局もちょっと調整が必要だと思いますけど、今回のアンケートは、ネクタイ外すか、もしくは全部同じにするか。というような形にして、ブレザーとスラックスだけチョイスすると。それで、1つに決めて、ネクタイを何パターンか写真ベースだけでもいいのかもしれないんですけども、それでまたアンケートするみたいなやり方はどうなんでしょうか、事務局として受け入れられるんですか。

事務局：ちょっと事務局としてはですね、やはりブレザー・スラックスにさら

にネクタイ、リボンっていうものが1つセットとしてやっぱり皆さん制服っていうふうにとらえるところもあるかと思います。先ほどお話もネクタイ・リボン付けずにブレザー・スカート・スラックスのみのアンケートというところもあったんですけれども、多分皆さん見た時にネクタイ・スラックス・リボン・ブレザー・スカートを1つのセットで制服というふうにとらえるので、メーカーさんの方でそれぞれのデザインにあったネクタイ・リボンというものを今ご用意いただいているので、一応こちらのセットの方で、アンケートをしていくっていうところも1つの手かなと思います。またアンケートの機会をまたいくつか増やしてしまうのも、回答する側が今どのアンケートやっているんだろうというふうなところもあるので、なるべく今回このアンケートで、ネクタイ・リボンも含めて、このワンセットずつというところで、回答いただくのはどうかと思っています。

委員長：はい、ありがとうございます。確かに何度もアンケートしてもらうのは手間だと思うので、はい。お願いします。

委員：はい。できるだけ保護者さんとか、学校に通うお子さんの意向に沿いたいって気持ちは同じではあるんですけど、制服についての議論って大分重ねてきて、何でもやっぱりアンケートを取ることでお子さんたちも、またっていう気持ちも、もちろん出てくると、それから一度もうネクタイ付きのものを選んでいるのに、いろんなパターンがどんどん出てくると、やっぱり迷うんじゃないかなっていうのもあること、それから先ほどの納期のお話を伺っても、このアンケートあたりがもう最後なんじゃないかなっていうことを懸念しています。もう1つはバラバラに取った時に例えば真ん中の青ベースのスカートとネクタイは赤ベースが人気だった場合、アンケートとして、青と赤の組み合わせになった時に、最終的にどうなんだろうそれはっていうところもあるので、やっぱり、私としても、そろそろ制服の議論は、他にも決めなければいけないことはいくつもあるのであれ

ば、制服はこのあたりでも検討を重ねてきたので、この3パターンではどうかなあと思っています。メーカーさんややっぱりプロの目から見て、ベストマッチっていう形で選んでいただいているのであれば、この中からではいかがでしょうか。はい。

委員長：はい。お願いします。

委員：先ほどの意見に賛成していて、今回のこの組み合わせを聞いて、パラメーターが2つあると思うんですよ。ネクタイを何にしたいですかって話とボトムを無地にしたいですか、チェックしたいですかっていう話で、そのパラメーターが2つあることを聞くんだったら、アンケートの項目を1個増やせばいいだけで、制服のブレザー・ボトムの組み合わせはどれがいいですかっていう話と、ネクタイは何色にしたいですかって話を聞けばいいだけで、そのネクタイを何色にしたいですか。赤がいいです、グレーがいいです、青がいいですっていう、その3つぐらいのことは選ばせればいいのであって、そのストライプの内容までみんな選びたいわけじゃないと思うんですね。だから、今チェックベースにグレーベースのネクタイを選んでくださっていますけど、仮にそこに赤いネクタイをしたいっていう話になったら、この場で合う赤を選べばいいと思うんです。私はお任せでもいいと思っています。そこについてはそこまでアンケートを取る必要はなくて、大筋で、色を何にしたいですかっていうのを選んでもらって、デテールの部分は、大人で選んでしまってもいいんじゃないかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。アンケート自体は何度も良くないのかなっていったところはほぼ合意なのかなというふうに思っていますので、このアンケートの聞き方のところでちょっと工夫していくのがいいのかなといったところだと思うんですが、仮に見せ方として今のまま見せて、設問でアンケートの色、どの辺の色が強い、どの辺が希望ですか位を聞いて、もし、今は基本的にグレーとか青ベースが多いと思うので、多少赤系統が

多かったら、グレーベースのところに赤をちょっとポイントで入れてもら
うとかそういう調整っていうものがメーカーさんとして可能なものです
か。期限的にもなんですけど。

明石：そうですね、そのアンケート終わった時点でこの辺が方向性として決ま
っているよっていうことであれば、9月中旬ぐらいになると思うので、ま
だネクタイ・リボンに関しては調整できるんですけども、はい、基本、
制服ってやっぱりこうネクタイ・リボンとの組み合わせは結構やっぱり大
事で、例えば一番右側のこれですね。アンケートの時にも赤のネクタイ・
リボンが付いていたので、やっぱりこれ皆さん赤ってイメージあると思う
んですけど、これちょっと、実はボトムに色が入ってないんですね。なの
で、極端なところでこれでも合うんです。なので、その辺も含めてなん
ですけど、逆に選択肢はあんまり赤か青かっていうところで増やしていくと、
特にここにさっき言った赤だとやっぱりちょっと合わないっていうふうに
なるんですね。工夫はもちろんできなくはないんですけど、それにはやっ
ぱり多少の時間はやっぱりかかってしまうので、私も結論はないんですけど、
どうしましょう。

委員長：多分一長一短があるんだと思うんですよね、おそらく。アンケートす
るのは全然いいんですけど出てきた意向が落とし込むのが多分、現実問題
で無理な可能性が出てくるってことですよね。

明石：そうです。

委員長：ですので概ね、ちょっと皆さんのご意見と変わっちゃうかもしれない
ですけど、ある程度の調整ありきっていうところで、セットでやっぱ選ん
でもらうってのは非常に大切なのかなというのはあります。最初の7プラ
ンのアンケートはもうそれがセットの状態を選んでいうのが1つ
ありますので、そこから見た目が大きく変わるとかってのはなんでっての
が出てくると、厄介かなという気はしているんですけど。そうですね、一

応前回までのネクタイの色合いのなんていうか、差を比べると、それが縮まったのかなってような印象を私は受けていまして、前回とかの一番右が、まず本当に真っ赤だったんで、それに引きずられてる部分が多かったのかなと思うんですけど、今回ポイント的な感じに変えていただいたので、そこまでネクタイに大きく左右されることは減ったのかなと個人的にはちょっと思っていて、そういう視点であれば、このまま聞いていただいて、ネクタイをあえて設問化する必要性も低いのかなと思ったりするんですけど、そこら辺皆さん意見分かれるところなんですけど、改めて皆さんの意見とか、メリット、デメリットとか聞いて、どうですかね。

はい、お願いします。

委員：前回からまた今回ちょっとネクタイも変えていただいて、今見た感じ、本当にどれになっても素敵だなんて思えるような形になっていると思いますし、子供たちも、いろんな見るポイントチェックのスカートが良いとか、赤リボンがいいとか、どこに重点を置いてみるっていうのは個人個人いろいろあると思うんですけども、それは本当に赤のネクタイが好きっていうことで、赤が好きだからこっちっていうふうに決めたら決めたでもいいと思いますし、それはもうトータルのバランスもできてるものなんで、せっかくこう学校にサンプル置いていただいて足を運んで、実物を見て決められるんで、もうそのイメージをあえてネクタイはこれってそこから変えるっていうと、その実際見たイメージと結果がやっぱりずれるっていうことにもなりかねないのかなとも思うので、やっぱり見たその1つ1つの3パターン、ネクタイとセットで、アンケートをシンプルに採るっていうのがやっぱり子供の意見も親の反映しやすいのかなと思いました。

委員長：はい、お願いします。

委員：はい今回、多目的室の方で実際にこういう形で展示をして、生徒にも保護者にも見ていただくっていう、今まではやっぱり画像っていうか、そう

いったものでしか見てないんですが今回、実物を見ることになるんですね。なので、もうここではもう、完成形、そういったものをきちんと見てもらって、子供たちにも保護者のみなさんにも回答してもらって、最終決定ですよっていう形で提示した方が良いのかなと個人的には思います。

委員長：はい、ありがとうございました。なんか学森の時も何かアンケートで選んだものと大分変えて、いろいろクレームみたいなものもあったというようにお話もあるので、その辺の経験を踏まえると、あまりやっぱり変えたくないかなあというところはあるのかなと思っています。ちょっといろいろ意見はありましたがもやっぱりいろいろ総合的に考えてこのままいくのがいいのかなと思っていますけども、皆さんどうですか。よろしいですかね。皆さんも頷いていますのでいろいろ議論はなりましたが、原点に立ち返って、メーカーさんからご提案いただいた3点でまずアンケート採っていくというような形で決定させていただければと思いますけども、どうですか。よろしいでしょうか。はい。その点はOKということでメーカーさん大丈夫ですか。

明石：はい。念のため、もう1回確認なんですけど最初に胸につけてたものと、今、こういうのもどうですかってということで付けてきたわけなんですけど、どう思いますか。ちょっとごめんなさい、また振り出しに戻すつもりはないんですけど。

委員長：ではもう、ここで決めたいと思いますが、今日の新たな提案なのか、前回に戻した方がいいのか皆さん意見あれば、今のうちにお願いします。

明石：極端に言ったらなんですけどね、例えばこれはこっちについていたんですけど、まあ、ないかなと思いますけど、いろんな選択肢がやっぱり出てくるので、どうでしょうか。

委員長：はい、お願いします。

委員：何か直感的には左の元水海道タイプのやつですね。何か元の色の方が

こう、若々しい感じがするかなとか思ったりもして、これもう本当感性だ
と思うので、委員で多数決採ってもいいのかなと私は思ったりしています。

委員長：はい、じゃあ左から多数決採りますか。今の提案か前にするかってい
うことで委員の皆さんも挙手いただければと思いますけど、一番左の案に
関して、今のままで、今回の提案でいいという方は、やや多いかな。では
今日のご提案でよろしいですかね。はい。真ん中の方に関して、今日のご
提案で良い方また挙手をお願いできればと思います。これもこちらの方が
多いので、はい。一番右が思い切り差がありますけども、どちらがいいで
しょう。今日のご提案の方がいいと思う方は手挙げていただければと思い
ます。これは、これも今日の方がよろしいのかな。はい。なかなか全会一
致にはなりませんでしたが、今日のご提案ということで基本的なメー
カーさんの今日のトータルコーディネートが概ねいいのかなという形です
ので、これでいければと思います。他、確認しておくことはありますでし
ょうか。

明石：はい。先ほどちょっと申し上げた通り、今回これでアンケートを進めて
いくっていうことなんですけど、最終、例えば、ちょっとごめんなさい話
しぶり返しちゃうかもしれないんですけど、多少の小変更であればまだ対
応はできるんですが、そのアンケートの段階でもうここまでっていうのは
ちょっとできれば意見は盛り込んでいきたいと思っています。例えばさっ
き言った、これはピンクが入っているんですけど、これをやっぱり赤にし
てくれとか、その辺はそのアンケートの段階で最終を決めていただきたい
なと思ってます。はい。そこから先は本当にお渡しに関わってきてしまう
部分があるので、はい。あと皆さん近くでご覧なっただいて、はい。

委員長：ちょっとアンケートでそこまで聞くのは難しいと思うので、我々の中
で判断するしかないかなとは思ってますので、最終のところでも議論さ
せていただければなと思うんですね。はい。

明石：あとボタンなんですけど、ここは先ほどちょっと最初に冒頭説明させていただいた、エンブレムが付くか否かという部分で今回そのふくろうのマークをどこに残そうかっていうのも一応考えて入れてみたんですけど、その辺はどういうふうに決めていきたいと思いますか。

委員長：おっしゃる通り、単純にこれをアンケートで聞くとかっていうのもいいのかなとふと思ったんですけど、それで選んでもらうのは何かメーカーさんとして抵抗はありますか。

明石：全くないです。全くないんですけど、これは3つでやりますか。よろしいですか。

委員長：イラスト見るだけですごい何か私なんかプラン B ら辺がいいなと個人的に思いますが。皆さん意見分かれると思うので、どうですかね。やり方としてアンケートで選ぶか、あとさっきメーカーさんからおっしゃっていただいている校章ワッペンがもし有りになるのであれば、A か B かなんですね。無しになれば C にするかっていうところかなと思いますけれどもアンケートで聞くとなんかそういうパターンではないパターンも出てしまうと思うので、これは委員会の中で決めますか。そのエンブレムの有り無しからどう判断するかっていうところでよろしいですか。今の感じだと委員会の中で決める形の方がいいですかね。はい。方向性としてはワッペンが有りっていう回答になったら、A か B。はい。無しであれば C にするっていう方向性で皆さんよろしいですか。こちらも皆さん頷いてらっしゃるんでそちらの方針でいければと思います。承知しました。単純に B だけでそういうふうに考えれば、A、B は皆さんどっちがいいですか。入れないのもありだと思いますけども、どうなんですか、入れないって最近のトレンドとしてあまりないですか。

明石：あんまりないかもしれないですね。結構、ボタンを何をつけるかにもよるんですけど、今回のこのガラス上のボタンって結構デザインの自由度が

高いわけなんですね。もしこれじゃなくて例えばプレゼンの時とかにちょっとお見せしたんですけどスコッチボタンって言って土浦一高さんで使っている削り出しのボタンとかだと結構シンプルになるんですけど、この間お約束したのより値段が微妙に上がりますっていう 2、300 円かなと思うんですけど、その辺が若干変わるかなっていうのはありますね。なので、何かしらデザインは入った方がまとまりやすいってのあるかもしれないです。例えばなんですけどプラン A って一番左のやつで KG しか入ってないんですけど、ここにその鳥の下に入っている SINCE2023 を加えるっていうのも 1 つの、あれ違いますか。

委員：私としてはボタンが 1 個取れちゃって、買ってくださいっていうふうに言われると、面倒くさいなっていうのが正直なところで、もしもシンプルなものであれば、似たようなものを見つけてきて付けるっていうのもあるじゃないですか。そのボタンにデザインを入れることで価格にどれぐらい影響があるのかっていうことと、そんなに人数が多い学校じゃないですけど、2 学期の真ん中辺で取れちゃいました、すぐ欲しいです。それで手に入るものなのかなっていうところが、私は気になります。

明石：それは全く問題ないです。値段は基本変わらないです。このボタンの中であればデザインを何にしようとそんなに差はないです。色はもうこれしかできないので、基本的に私たち制服会社っていうのは、ボタンとかの副資材ってのは常にストックしてあるんですね。学校がなくなる限り、基本販売店さんとか私たちのところにもあるので、欲しいよっていう場合はお店行っていただくとか、問い合わせいただければすぐにお渡しはできるので、そこに関してはご心配要らないかなと思っています。そしたら付ける方向でよろしいですかね。はい。であればなんですけど、エンブレムとかワッペンが付くようであれば、A か B、付かなければ C っていう、筋道がそれでいくとしたらなんですけど、ちょっと明確にしたいと思ってまし

て、もしエンブレム付く場合の A か B はどっちかにしていただけたら嬉しいなと思うんですけど。

委員長：今決めて欲しいってことですかね。はい。ではこれも、多数決しますか。シンプルか月桂樹を入れるか。

明石：そうですねワッペン有りの場合になったとき、ボタン A か B がどっちかっていったところだと思っております。そうすればアンケートの時点でもボタンがこっちだよってというのが決まりますので、はい。

委員長：皆さん多数決でよろしいですか。A の方、挙手していただいてよろしいでしょうか。B でよろしいですかね。はい。では B ということでお願いします。はい。あと何か決めておくこととかはありますでしょうか。

明石：はい。大丈夫です。ごめんなさい。忘れてました。この中で一番こっち側のやつですねこれに、なった場合なんですけど、ちょっと柄のテクニク的な問題が1個だけあって、このシャドウの部分、このボーダーのところなんですけど、これがちょっとまた話が長くなっちゃうんですけど、簡単に言うと冬の生地だとこのシャドウを出せるんですけど、夏の生地、つまり縦横斜めの冬の生地と、ただ横だけの夏の生地っていうので、テクニクが変わってきちゃうんですね。簡単に言うと夏の生地だとこのシャドウが出せないです。ちょっと実例をこれは下館一高さんのスカートです。同じようなテクニクでシャドウにブルーのステッチが入った柄なんですけどそれを、左手の方が夏の生地なんですけどこの色で、そのシャドウの差を出さなきゃいけないっていうのが1つあります。なので柄は一緒なんですけど、見た目がちょっと変わるっていうのが、1つありますので、これだけちょっとご了承いただければと思うんですけど。

委員長：全然、個人的には問題ないかなと思ってはいるんですが、アンケートを採る時に、簡単な説明資料みたいなのご用意いただけるといいのかなと思っていて、そこのところに但書みたいなを書いておいていただければ

いいのかなというふうに思いますけど。多分、現物見ちゃったらそれで終わっちゃうと思うんですけど。子供は現物見たところの直感で皆さん票を入れると思うんですが、保護者はある程度、説明資料とかを見ると思うんですよね。なので、できれば価格帯とかもその資料には入れていただいて、保護者はある程度総合的にと思っているんですけど、価格帯とかは実際にどのくらい差が出ると思いますか。

明石：これ営業的な話にもなっちゃうんですけど、正直変わらないです。変わらないっていか学園の森さんと基本同じぐらいの価格帯でいけるようなものを当初からピックアップして進めているので、基本学森さんとほとんど変わらないというイメージで、大きく高くなることもなければ、じゃあ2,000円、3,000円安くなるかっていったらそういうわけでもない。ですね。なので、概ね学園の森さんと一緒ぐらいっていうイメージで、ただシャツが指定になるかならないかで、指定は多分ないと思うんですけど、そのシャツの金額ぐらいが違うっていうイメージですね。

委員長：はい、わかりました。では価格と機能面は同じって形で資料はできて、デザインのところだけちょっと売りを変えるような補足を作っていただいて、多分直感で皆さん選ぶ感じにはなるとは思いますけども、そんなところだけ、はいちょっと見せながら、出すものをちゃんと出して選んでもらえればなとは思っていますので、そこをちょっと準備いただけないかなと思いました。

明石：あとネクタイ・リボンに関しては基本、ワンタッチで考えておいた方がいいですか。それとも、リボンはこういうゴム式パッチンのゴムなのか、ネクタイはレギュラーで結ぶのかっていうのが選択肢で出てくるんですけど。

委員長：ちなみに、今の学森はどうなってるんですか。

明石：リボンはゴムです。ネクタイは、両方あったようななかったような、ち

よっとごめんなさい。ワンタッチでしたっけ。ごめんなさい。ワンタッチですね。

委員長：学森に合わせたほうがいいと思うんですけどどうですかね。先生もどうですか。学森で悩みがあるんで逆に直すとかってなるかもしれないですけど。

明石：男子はネクタイを結ぶのも一つの教育。

委員長：将来的にはそうかもしれないけど、高校くらいからでいいような気がしますしね。基本学森さんと同じセッティングでよろしいでしょうか。はい、お願いします。

事務局：事務局です。いいですか。今のワンタッチも結ぶやつも両方用意出来るのは用意出来るんですよ。

明石：出来るんですけど、ごめんなさいちょっといやらしい話かもしれないですけど2つ用意するってことは、両方どっちか全員買うかもしれないしどっちか両方買うかもしれないかがわからないので在庫の準備のしょうが非常に難しいですね。なので、ワンタッチなのかレギュラーなのかは、できればどっちか一本にさせていただけると作る方としては助かります。

委員長：一応規約を作っていく中で、ネクタイを常時つけるようなルールは多分していかない方向になるのかなと思っていて、多分式典とかだけでつける形になると考えた時にその時にネクタイを結ぶと違って全然できない子供も多くなってくると思いますし、そういう意味で中学生でもあるので、ワンタッチで学校の要望もあるのでいいのかなと思いますけど、どうですか。

事務局：事務局です。いいですか。なぜそれを言ったかという、秀峰の時にワンタッチとか、そういうもので金属製のアレルギーの子がいると困るので、ワンタッチだけじゃなくてっていうのが秀峰の時に出了たので、そこだけがちょっと心配していたので、アレルギーの子とかのためにワンタッチ

だけじゃないのも、もし用意できればどうかなとは思ったんですけど。

委員長：そういう意味では今、学森はどういう対応を取られてますか。付けないでいいっていうことですかね。

委員：実際、そのことで悩んでいるお子さんがいないので、ちょっと想定はしていないんですけども、ただそのあたりも柔軟には対応はしていこうかなというふうに思います。

委員長：そうですね。例えば、メーカーさん、既製品のサイズができない方とかは販売店に相談すればなるべく対応するというようなことを多分言っていたいたと思うんで、その要領でそういう方がいれば特注で作る形の相談とかそういうのは。

明石：それは問題ないです。多少納期はいただく形にはなっちゃうんですけど。

委員長：はい、わかりました。問題ないです。ちょっと値段が上がるのかその辺はご考証いただければいいんですけど。

明石：一応念のため、リスクだけ話しておきますとワンタッチってさっきの金具の件でアレルギー云々っていうのは確かにあるんですけど、もう1つリスクとしてはちょっと金額が高いです。レギュラーと比べると300円か400ぐらい上がると思います。で、あと壊れるっていう部分、何て言うんですかね、中学生なので、よくこの辺を引っ張って遊んだりしちゃう。こういう金具なんですけどここがもう外れて戻らないとか、特にリボンなんかは小さいので、女子生徒が屈んで下向いた時に落として気づかないとかっていうのがあるので、基本、リボンはもうゴム式をお勧めしています。コストも安いですしね。はい。ネクタイは落としてなくなることはあんまりないので、コストの面とその壊れるっていうところだけをちょっとご認識いただければと思います。ちなみに秀峰さんはワンタッチとレギュラーと両方設定しているんですけど、レギュラー買う子は、5、60人いて1人か2人ですね。あとはみんなワンタッチ、そういう意味では先ほどの特注対応

の範疇でいただくのが最善かなと思いますので、そういう方針でいいんじゃないでしょうか。

委員長：はい、では学森さんと同じセットアップで進めるということで、はい。

以上です。はい。他は皆さん大丈夫ですか。すいません。はいどうぞ。

事務局：今、ボタンを決めて欲しいということで、A、Bで無しの場合を決めたと思うんですけど、有りの場合、C っていうだけじゃなくて、アンケートで有りになったとしても、A、B、C のどれかから選ぶっていうので決めた方が、C っていう決め打ちをしないで選ばなくていいのかなと。先ほど、A、B のどちらかで多数決とったと思うんですけど、有りになった場合にはA、B、C どれかっていう中から今決めといた方がいいんじゃないか、C という決め打ちではなくてと思ったんですけど、どうですかというご提案です。

委員長：皆さんどうですか。本当に決めだけの話なので、もう基本、あんまり反応もないので、さっきの案でよろしいですか。それとも、多数決を採りますか。

委員：C でふくろうが入ってるのはいいなと思うんですけど、私は 2023 年っていうそんな歴史がない学校にわざわざ年を入れなくてもいいんじゃないかなというのが、気になってます。

明石：学森さんにも入ってますよ、2018 って。

委員：素朴な疑問なんですけれど、自分の学校が何年にできたかっていうのを知ってるって大事な教育なんじゃないかな。

明石：教育ってわけではないんですけどもね。はい。デザインって考えてもらえれば、いいかなと思います。結構やっぱり昔の、なんちゃら一校とかっていうのはよく、それが 1 つのステータスなので、SINCE 何年とかよく入れたりするんですけど、この年にできたよっていう、何て言うんですかね、それは別にいいんじゃないっていうんであれば、いいと思いますし、はい。ただふくろうだけっていうのもただ月桂樹にふくろうだと校章をかなり

邪魔しちゃうかなと思ったので、ふくろうに月桂樹は今回入れなかったんですけど、はい。特別意味はないです。

委員長：ワッペン無しの時で C という形がいいという形で、もう 1 回再確認ですけどそれは OK ですかね。はい。今、ご意見がありました C に決まったとして、この 2023 を入れるか入れないか。月桂樹は入れると逆に重いんですかね、B の下の。

明石：ふくろうに月桂樹。これ、私も最初考えたんですけど、ワッペンとか校章とちょっと違っちゃわないかなっていう。単純にふくろうだけ出てきた、じゃないですけど、月桂樹までしょって出てきちゃったってなるよりは、シンプルの方がカッコいいかなと思って。はい。あえて月桂樹を入れなかったんですけど。もしご要望であれば月桂樹を入れたものを作ってきますか。

委員長：どうですか。そこまでしなくても、何か開校年がいつかわかんないのを改めて見るとか、知る良い機会かもしれないので。

明石：本当デザインとしてとらえてください。基本的にはこれでよろしいですかね。

委員長：はい、お願いします。

明石：ありがとうございます。

委員長：他、大丈夫ですか。事務局も大丈夫ですか。

事務局：最後にスケジュールのところで一応メーカーさんの方からは 9 月のだいたい 16 日までに、スラックス・スカートの生地も含めて、生地発注の方をにかけていきたいというお話をいただいております、それはその通りでよろしかったでしょうか。

明石：大丈夫です。

事務局：それでちょっと一応 9 月 14 日までアンケートということをしていただいているんですけども、この後、アンケートの結果を集計をして、その

アンケート結果を踏まえて、この3パターンの中から1つを選んでいただくような形になるんですけれども、その決めるタイミングとかも含めて、一旦、9月14日までというところを設定させていただいているんですけども、仮にこれを13日ですとか、ちょっと若干短縮をさせていただいて、急ぎ集計させていただいて、例えば15日木曜とかに、ちょっとZoomのような形でこちらの開校準備委員会を開かせていただいて、アンケート結果の集計を確認して、その中から1つを選んでいただいて、16日はメーカーさんの方に1つ選定したものをお伝えするという形で進めさせていただきたいというふうに思っているんですけれども、どうでしょうか、このちょっとアンケート期間を14日までというふうにこちらの案ではさせていただいているんですけれども、こちらを例えば13日までにして、それで15日に委員会開催で1つに選定してメーカーに伝えるという形でとは思っているんですけれどもいかがでしょうか。

委員長：どうでしょうか、皆さん。大丈夫ですか。はい。委員会は14日で確定ですか。

事務局：15日でもよろしいでしょうか。

委員長：はい。15日でちょっと皆さん都合分からないんですけども、参加できる方みたいな形になってしまうと思いますが、よろしいですか。じゃあ15日にZoomでということで、はい、お願いできればと思います。

事務局：アンケートの終わりの期間のところは、14日ないし13日で。

委員長：はい。大丈夫じゃないですかね。はい。特に反対してる方はいないと思います。

事務局：では13日とさせていただいても特段問題ないでしょうか。

委員長：はい。学校側が大丈夫であれば、いいと思います。はい。

事務局：はい、ありがとうございます。では一旦ちょっとアンケートの実施期間については6日から13日、火曜日までというところで、させていただき

たいと思います。よろしくお願いいたします。

委員長：では何か最後にメーカーさんの方から何かございますでしょうか。

明石：特に大丈夫です。引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

委員長：そうしたらアンケートの実際のもの設問表とか依頼文ですとか、あと添付する資料とかを準備いただいてちょっと一旦メールベースでもいいと思いますので、委員の皆様を展開していただいて、確認だけしてもらってから実行をお願いできればと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局：はい、そのようにさせていただきます。

委員長：はい。特になければ、一旦ここは終えて、事務局に一旦お戻しいたします。

事務局：一旦議事の1番の制服アンケートについては一旦こちらで終了とさせていただきます。メーカーさんお忙しいところ、はい、ありがとうございました。

明石：ありがとうございました。

事務局：この後、体操服のメーカーさんもいらっしゃっていますので、この後、体操服のアンケートについて意見交換等をさせていただきたいと思います。ママダさんご準備よろしいでしょうか。はい。引き続きまして議事の2番目の体操服のアンケートの方に入らせていただきます。本日メーカーさんにお越しいただいておりますので、今回ちょっと今持ってきていただいたサンプルは前回お持ちいただいたもので、今回の資料の方で今回作っていただいたものはイメージとして載せていただいております。こちらの方のご説明をいただいてもよろしいでしょうか。

ママダ：はい。ではこちらの資料を見ながらご説明をさせていただきます。デザイン1の方はもうそのままでやらせていただく形で、アンケートに入れさせていただきます。デザイン2の方が、デザイン1と同じ素材のものに

変更させていただきまして、かつ、反射ラインの方を入れさせていただく形になります。首から胸のところにある切り換えのところですね、そちらの方に反射のラインを入れさせていただく形を取らせていただきます。それに伴って若干のお色が切り換えのところ、変わる形になりますので、こちらの方、よろしくお願いいたします。今回の資料には間に合わなかったんですけども、こちらデザイン1、2共にファイテンというブランドを付けるか付けないか。それに伴ってアクアチタンというテープが首のところに付くんですけども、そちらを付けるか付けないかというところもアンケートに入れさせていただく形になります。それで、一応この1枚で今回資料は載せさせていただいておりますが、デザイン1、デザイン2という形でパネルを作らせていただきまして、アンケートを採るような形になりますので、よろしくお願いいたします。続きまして、こちらのトレシャツとTシャツで入れさせていただいているマークの案の資料の方をご説明させていただきます。今回ちょっとTシャツの方は、まだマークを付けるか付けないかなどは決まっておきませんので、ちょっとこちらの方は省かせていただきまして、トレシャツの方のマークのみでアンケートを採らせていただく形を取ればと思いますので、よろしくお願いいたします。Tシャツの方は、もう形の方が1点、決まっておりますので、そちらで共通して、アンケートの方に入れさせていただく形になるかなと思います。資料に関しては以上になります。

委員長：はい。ご説明ありがとうございます。いただいた資料ですとか今の説明に対して、気になる点とかあれば、ご発言いただければと思いますけれどもいかがでしょうか。資料ぱっと見ですけど、素材1、2に共通とありますけども一番下を見ると全然そう見えないのは、なぜですか。

ママダ：すいません、デザイン2の下の方にある素材の方は、半袖シャツの素材のご説明になっておりましたので、こちらの方はちょっとわかりやすい

ように訂正させていただきます。

委員長：はい、お願いします。他に皆さんいかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい。右上のジャケット襟元っていうのはこれデザイン2についてですか。

ママダ：このアクアチタンテープが入っているか入っていないかの、右上の説明のところかなと思うんですが、こちらはデザイン1、2どちらも共通で入れさせていただいている案になります。

委員：なぜそう聞いたかという、そこのラインが水色だったのでこれは2のことを言っているのかなと思ったんですが、2の方はここの襟元は水色で、1の方はここの襟元は白ということになりますかね。

ママダ：そうですね。デザインのところで言いますとこの水色ではなくてブルーの差し色に変わりますので、こちらと同じブルーという形、もしくは、わかりづらければ、この色は入れずに、入れさせていただく形を取ればと思いますので、こちらの方はすみません、訂正させていただきます。

委員長：はい。多分共通のところがちょっとわかりにくいだけだと思うので、資料の配置を考えていただければ解決だと思いますのでよろしくお願いします。他はどうでしょうか。あと、バックプリントとかも3つご提案いただいていますけども、この3つの案でアンケートするのかもしれない、少し変更していただくのかですとか、どうですかね。基本的にアルファベットという形ですけども、その辺で本当にいいのかどうかとか、どうなんですかね。何か意見あればと思いますけども。どうでしょうか。

委員：ちょっと気になったのが2番と3番で、2番の研究学園、とスクールの前の「E」と「J」、小学校・中学校を意味しているものだと思いますが、あと3番も同じように、小学校・中学校両方着れるようにということで、あると思うんですけども、それが必要かどうかというところで、皆さん、

どういうふうにお感じになっているか、お伺いしたいなというふうに思います。

委員長：ここ、これはあれですか。小学校と中学校でなんか分けるとか、そんなイメージで作っているんですか。それとも全部統一ですか。

ママダ：今の仮のお名前で、研究学園小中学校というところがありましたので、一応エレメンタリーとジュニアという形で入れさせていただいておりますので、こちらのお名前が正式名称で決まりましたら、そちらに合わせて入れさせていただく形をとればとは思います。

委員長：というと、「E」と「J」は削除するだけって形になるんですが、どうなるんですか。

委員：正式のお名前を、事務局の方にお伺いしたいんですけど。施設分離型の場合、何々学園ってなるかと思うんですが、その名称ってどうなってるんですかね。

事務局：はい。事務局です。名称については事務局というか教育局で決めるようになると思いますが、我々はまだ知らない状況です。違う課が担当になりますので、そこで話し合ってもらうような形になると思います。

委員：となると、その学園名を入れるのか、それとも研究学園学園名が全く研究学園とかけ離れたものになった場合、それをバックプリントとして、入れるのは、それがいつ決まるのかわからないんですけども、時間があるのかというところと、例えば1番に決まったとして、学園名が変わった時にどうなるかな。研究学園と全く違う学園名になった場合、学校名としては、研究学園小学校、研究学園中学校ではあるかと思うんですけども、ご承知の通り、つくば市の施設分離型の場合、それぞれ小学校、中学校の名前が全く違ってたので、何とか学園っていうのを入れるんですよね。その辺りは基にしなくていいのかなと、この「E」、「J」っていうのを見て思った次第です。あと子供たちは体が大きくなるので、9年間通して着るってこ

とはありえないかなとは思いますが、例えばその5年生、6年生から7年生になる時には多分、同じものを着るかなと思うので、数その辺りなんか小学校、中学校って区別しちゃうと着づらくなっちゃうかなと思うので、何か研究学園スクールぐらいにしといた方が、利便性は高いのかなと思った次第です。それで、繰り返しになりますがその時に学園名が新しくなったとき、研究学園スクールのままでいいのかなと感じた次第です。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。今のお話聞くと学園になるかどうかは全然見通しが立っていないということですか。そうすると、プリントの期限とか、その辺は。

ママダ：プリントのこの学園名に関しては、学園名が決まった後でも全然構いませんし、その学園名が決まった時点でプリントを起こすような形になりますので、例えば今、いただいたように「E」と「J」を抜かして、研究学園スクールだけを入れさせていただくとか、研究学園だけでもいいですし、その辺りの調整は可能ですので、はい。

委員長：はい。ひとまずデザイン的なものを決めるアンケートをするということで、概ねはこれで、「E」、「J」をとっぱらった方がいいような気がしますのでそれだけとっぱらっていただいて、デザインをまず固めるアンケートすると。その辺のさっきのご指摘のところはその辺の動向を踏まえてですかね。その辺は決まないのであれば多分スクールのままでいかざるをえないのかなとはちょっと思いますけども、そんなところですかこの辺は。事務局の方の、そちらの名称のところの展開次第だと思いますので、はい。

事務局：メーカーさんにちょっと確認なんですけども、多分つくば市内の他の学校さんの体操服とか作られているかと思うんですけども、今日、学校名じゃなくて、学園名を記載し、バックプリントしている学校さんとかって

あるんでしょうか。

ママダ：はい。先ほどご指摘がありました中で、谷田部地区の洞峰学園という、谷田部東中学校さんとあと3つの小学校さんがあるんですけども、そちらの4校さんでは、半袖体操服に洞峰学園というマークを入れて、小・中で共通のものを採用いたしました。はい弊社の知る限りではその学園というくくりでやっているのはその洞峰学園さんだけかと存じます。

委員長：はい、ありがとうございました。とはいえ、研究学園という名称の中に学園が入っているので、ちょっとくどいかなと思っているので、スクールでいいのかなあとは思いますが、どうですか。概ね、今回のアンケートでそのデザインを決めるというところで了承しましたので、どんな文字入れるかっていうのはまた後日微調整というところで、大丈夫です。

ママダ：ありがとうございます。

委員長：はい。学園の重複ってところもありますけども、とりあえずデザイン決めるのはこの形でよろしいですか。他にデザイン、フォントとか、文字の形、ロゴの入れ方を変えるとかその辺なにかあれば、ご意見いただければと思いますが、メーカーさんの提案でよろしいですか。特に意見ないのであれば、はい、お願いします。

委員：私もこのデザインを見た時に、2番とか3番とか素敵だなと思ったんですけど。この「E」、「J」ってのは多分英語的に正しくないような気がして、それを理由にそれを外してしまいそうなので、例えば仮でつくばって入れとくとか、なんかそういうことってできないんですかね。学森でも何かつくばって書いてありますよね。なんかそういう何かこう、英語的に間違っているから、これ恥ずかしいからやめようっていうのを何かないように何か工夫が欲しいです。

委員長：はい。そこら辺も含めて最終版は多分調整だと思いますので、とりあえずアンケートレベルでは、「E」、「J」だけ外すっていうところで、と

りあえずいいですか皆さん。はい。そこら辺も含めて最終版のは多分調整だと思しますので、とりあえずアンケートレベルでは、「E」、「J」だけ外すっていうところで、とりあえずいいですか皆さん。はい。どれか一つ決めることになると思いますのでそのあとでちょっと今お話したようなところ、他の事例とかを見ながら、どの辺が一番いいのかっていうところはちょっとまた、いろいろ見てらっしゃると思いますのでご提案いただけるとありがたいなと思います。どうでしょう他に何か。アンケートの仕方とかも含めて、いかがでしょうか。このファイテンの有無をアンケートで聞くと思うんですけども。これあれなのかな。この資料を見るだけで、入っているか入っていないかのメリットが全然わからないんですけど、後で見れば分かるんでしたっけ、マーク見ればいいんでしたっけ。テープが生地の中に入ってるとかでしたっけ。試作品見るのと、この資料を見るだけで、入っている、入っていない、何がいいのかがちょっとパッとわかりにくいなと思ったんですけど。はい、お願いします。

委員：関連するのか、関連しないかわかんないですけど、金額の上のところに、アクアチタン含浸テープがついた価格です。外した場合は 200 円、300 円程度価格が下がりますっていう、これは、個々人が選ぶ話か、アンケートの対象になる話か。どっちなんでしたっけ。

ママダ：はい。このチタンテープを入れないという点につきましては、アンケートの対象で、入れるか、入れないかを選んでいただくということになります。

委員：ファイテンを入れるか入れないかっていうのはまた別の話なんですよ。なので今、素案を事務局さんの方で作っていただいた中で、箇条書きでアクアチタン含浸テープを入れる、入れないっていう 1 つを増やさないといけないかなと思っているんですけど、そういう理解で合ってますか。

ママダ：ファイテンのチタンテープを、製品に織り込むこととそのファイテン

のブランドのネームを入れるということはセットになっておりますので、チタンテープ入れないってということとなるとそのファイテンのロゴっていうのも、必然的にこの製品に入れることはできないという、縛りがございます。

委員長：はい。多分、これだけだと分からないと思うので、説明をもうちょっと丁寧に資料をもっとわかりやすくしていければ思っているのと、一応この資料をそのまま展示品と一緒に載せるのかっていうところがあると思うんですけど、何て言うんですかね。一番の売りが、左上のところの言葉になると思うんですけど、もうファイテンが一番の売りになっているような説明書きになっていると思うんですよね。にもかかわらず、有り無しを選択するっていうのは個人的に違和感があって、一番の売りはやっぱり、体操服の機能のところとか、デザインのところにはならないのかなあといったところで、あくまでファイテンのところの特徴の売りはサブなんじゃないかなと思うんですけど。最後のまとめの資料の作り方だけだと思うので、ちょっとその辺はアンケートのやり方と、この説明資料で齟齬がないように、回答者がわかりやすいようにしていただければと思います。多分、大人でもこの辺は、ぱっと見よくわからないので。せっかくいい技術ではあるので、その辺は売りにしていただきたいなと思います。ですので、修正いただければなと思います。他は皆さんいかがですか。はい。お願いします。

委員：先ほどもファイテンを選ばないってなったときにそのロゴも入らないっていう話だったと思うんですけど。この背中のところ反射素材が付いていますが、マークがなくなる場合、この銀色の反射材だけになるっていうことでよろしいでしょうか。

ママダ：そうですね。ファイテンのマークがついた反射材が今ついておりますけども、これが代わりのものの反射材がつくような形になりますので、若干のデザインが変わるかなという形です。反射材の機能はそのまま残すよ

うな形になります。

委員：わかりました。

委員長：ありがとうございました。あと、先ほどの話にも出たんですけど、その選ばないって言ったときにそのロゴとか、そういうものが入らないっていうのもどこかに、こう入れておくといいかなっていうふうに思いました。サンプルがないので何とも言えないんですけども、感覚的にお聞きしますが、デザイン2は、例えば夜に歩いている時に目立つイメージなんですけども、反射素材でラインとかいろいろ入れてその分1,000円高くなっているのかなと感じたんですけども。せっくなのでそういったところも売りになるんじゃないかなというふうなところを思っていて、その辺はいかがですか。今のご提案の資料だと、何となくのデザインの違いみたいな形でしかチョイスができませんな感じがしていて、もうちょっと何か、そもそもデザインは結構似ているので、何で差別化するかっていったところの売りがあった方がいいのかなと思います。夜に目立つのであれば、そっちの方が機能面で、デザイン2をチョイスしたいっていう保護者とかがもしかしたら多いかもしれないので、何かそういったところをもうちょっと見せて欲しいなと。試作品を見る時は日中のなので、反射のところはわからないと思うので、例えば夜の写真とかで反射しているのが見えるものとかがあると、アンケートの回答とかが大分変わってくるのかなと思っているので、何かその辺をうまく表現できないですかね。結構夜暗いところで明るいと、事故予防とかにすごい有効な気はしますし防犯にもなるので、何かその辺せっかくいいものを作っているんで何か売りをもうちょっと強調できないかなあと。今だと何となく1,000円安いので、何かこっちが集まりそうな気もするので、何かその辺もったいないなと思ったんですけど。皆さんそういったことも含めていかがですか。何かそういう。はい、お願いします。

委員：はい。私は逆に、もうデザイン以外は同じなのかと思ってずっといて、前回でいろんな素材の中から素材が1つに決まって、今回はもうデザインだけでアンケートを採るのかと思っていました。なので、反射の部分もこのパイピングと背中のどちらにもあって、変わらないのかなと思っていたんですけど、やっぱり多少変わるんでしょうか。

ママダ：そうですね、前回のアンケートで、やはり素材を統一している。反射材の方も、デザイン2の方は入っていなかったんですけどもラインの方ですね。これをやはり入れるような形になっておりますので、やはり今回はもうデザインのみで選んでいただくような方向になるのかなと思っております。

委員長：この違いとかって、本当にデザインの入れ方だけで変わっているくらいで、生地は一緒なんだろうけど、何か他の機能の差別化とかも全然ない形ですか。もしあればということをさっきお話ししたんですけど、ないのであれば、デザインだけで選ぶ形ですけどどうですか。

ママダ：やはりデザイン2の方が、かなり切り換えのパターンといいますか、そういう生地の縫製も含めてなんですけども。かなり凝っているような形になりますので、その分での価格の違いがあるかなというところを、ご認識いただければなというふうに思っております。

委員長：わかりました。結果的にデザインでしか差別化を図れないということだと思うので、そこはそういう形で、はい。他、何か気になるところとかあればと思いますけど。はい、お願いします。

委員こちらの背中のロゴの価格なんですけど、背中サイズ1色の場合、1ヶ所につき440円。これはこちらのジャージ上の価格の5,610円には入っていますか。3番目とかだと、すごく文字数が多いですけど、どれを選んでもこの価格ですか。

ママダ：今、そちらの方に春日のジャージがありまして、簡単なプリントのも

のですけども、このプリントについては、字数が多かろうが価格は変わりません。1色のものであるということであれば、1番、2番、3番のどれを選んでいただいても、価格は変わりません。

委員：ありがとうございます。背中のプリント代も入っているということの解釈でよろしいですか。

ママダ：はい。1番、2番に表記されている価格につきましては、バックプリントは、含まれていない価格を提示しております。

委員：含まれてないのなら、プラスですね。こちらの背中にプリントを付けたらプラスされるという形ですか。そうしたらこの2番の方には5,610円に440円。が入るという形。そうすると6,000円ぐらいになるってということですね。でもそれを今後このアンケートするにあたって、もっと高くなっちゃったのっていうふうになると思うんです。このプリントを入れることで、もう多分この価格で頭に入っているんで、このバックプリントを入れます、プラスいくらかかりますっていうのも記載していただいた方がいいかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。バックプリント入れるのは、方針としてはもうすでに入れるつもりなので、多分、マークの方のご提案のところの価格帯を削除していただいて、このデザイン1、デザイン2の方に記載すればいいかなと思うんですけども、それでどうですか。いいですかね。はい、じゃあそこだけ修正いただければと思います。他皆さんいかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：1つ戻ってちょっと細かいところなんですけれども、その1,000円ぐらいデザイン2が高くなるっていうのはデザイン凝っているからだと思うんですけども、ジャージの下の方も330円高くなるのは、これもデザイン的には凝っているからってということでしょうか。

ママダ：300円ぐらい上がっている形なんですけど、すべてがデザインだけで、

この価格というのは決まっておりますので、一概にこれが高いのはなぜ、これが安いのはなぜだというのはちょっとこの場ではお答えできないんです。やはり、その縫製に関するところの工賃を含めて、値段の方が決定しておりますので、若干の差が出てしまうのはご了承くださいかと思っております。

委員長：何となくですけどデザイン2のズボンに白が入ってないように見えてしまうので、デザイン1の様に何かワンポイントあると少し明るくなるかなと思ったりもします。組み合わせで、いいのかどうかとかちょっとわからないんですが、その辺とか皆さんいかがですか。例えば、そういうデザインの組み合わせのアンケートで、組み合わせで一番多いところとかをチョイスするのは、メーカーさんの的には何か問題があるとか、その辺はどうですか。

ママダ：今回で素材の方が同じ方向性にはなりましたので、今いただいたような形でお選びいただくのも可能と言えば可能なんですが、一応、デザイン案として入れさせていただいていて、切り換えのところもうちょっと曲線を入れたりとか、ストレートのタイプで上下合わせさせていただいているとかというのはありますので、できれば、統一で選んでいただいた方が、よりシンプルになるんじゃないかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございました。ちょっと実物がないので何とも言えないんですけど、若干デザイン2のズボンが暗めかなっていうふうに見えたので、ちょっと思っただけなんですけど。あれですかね、実物見ると細い白い線はあるんですかね。

ママダ：デザイン2の方は、やはり横に切り換えがあるのみで、色合いがブルーのタイプに変わるような形となっております。デザイン1の方はやはり下に白い切り換えのところが入っているような形ですね。

委員長：はい、ありがとうございます。資料があればで汚れるからとか前回も

意見あったと思うので、なかなか難しいと思うんですけども、やっぱりトータル的に考えて、このご提案の方がいいと思いますので組み合わせなしという形の方がいいですかね。はい。他、何かあればと思って発散する意見を言っちゃいましたけどどうですか。特になければ、ご提案通りに作っていければなと思いますけど、よろしいですか。はい、お願いします。

委員：金額のところはもう、今更言えるところではないと思うんですけども、何かこうジャージの上だけで 6,000 円超えるのかってというのが、ちょっと購入者としてはあって、だったら学森のジャージを買いたって正直思ってしまうところがあります。そういう意味では選択の 1 つとして、多様性っていうところを私はできれば推していきたいんですけども、これが高いつて思うご家庭があるんだったら、自分で似たようなジャージを選べる、その範囲、それがあるのであれば、別にもう 6,000 円超える上のジャージがあっても全く問題ないなとは思っているんです。そのロゴ付きで 6,000 円だったら、ロゴはいらないと思ったりもしまして、ちょっとその 6,000 円っていうバーが私にとっては高くなってしまったので、一般的なご家庭でも、もしかしたらそういうふうを感じる方いらっしゃるかなとふと思いました。以上です。

委員長：はい。これは学森の値段と比べて高いんでしたっけ。

ママダ：はい。学園の森の現行販売価格になりますけれども、トータルでいきます。長袖、長ズボン、半袖、半ズボンを 1 組買った場合で、標準、サイズのとらえ方が違うんですが、SS から 4L のくくりの中では 1 万 4,795 円です。

委員長：となると学森よりかは安くなっているってことですかね。

ママダ：120 から 140 のサイズで学園の森の体操服が 1 万 3,255 円の税込が、現販売価格です。

委員長：こっちのがちょっと安いってことなんですかね。

ママダ：半袖シャツがここには入っておりませんので、同じく加えると 1 万 6,000 円ですね。ですから、学園の森より 2,000 円近くこちらのが高くなります。デザイン 2 で 2,000 円高くなってデザイン 1 で 1,000 円高くなるみたいな感じですかね。

委員長：はい、お願いします。

委員：今、資料を見ると学森のシャツ、上のジャージ、150 から 190 が 5,390 円ですね。120 から 140 が 5,060 円なので、ロゴ入れると 1,000 円ぐらいの差。トレシャツだけ見るとこのような形ですね。

ママダ：トータルで見ますと、先ほど 2,000 円ぐらいの差があるとお伝えしてしまっているんですが、計算してみますと、1,000 円ちょっとだけデザイン 2の方が高くなる。逆にデザイン 1の方は、ほぼ同じぐらいの値段トータルになっております。

委員長：はい、ありがとうございます。デザイン 1であれば現行程度という形なので両方とも高いとちょっとなと思ったんですけど、そこは 1つ安心できたかなっていったところですね。そもそも高いと言われたらもうどうしようもないので、一応標準服という指定をさせてもらうつもりなので、そういう方は類似品を買っていただくしかないのかなと思っています。そこはあえて強調できませんけども、そういう余地は残しているので、そこはそういう選び方をしてもらえればいいのかと思っています。そうですね。他はどうでしょうか。はい、お願いします。

委員：マークのご提案の方にちょっと戻ってしまうんですけども、ちょっと「E」、「J」を暫定的に消したりする関係もあったりして、2はフォントが圧倒的に違うので良いですが、1と3は、桜とふくろうのシンボルが盛り込まれているっていう部分で似た感じかと思います。何かその春日とか見させてもらおうと、単純に、ゴシックで文字を打ち込んでいるだけなんですけど、何かそういうシンプルなものをお好む人もいるのかなと思うと、1

と3のどちらかからマークを消すか、何かそういうシンプルなやつも1個あつていいのかなとちょっと思いました。

委員長：はい、ありがとうございました。確かにおっしゃる通りですけども例えば、そしたら3とか、1から何か取ると、物足りない気がするので、3あたりからはマークを取ったら、シンプルな文字だけでよかったりするのかなと思いますけど、その案とかにしますか、どうですか。では3から、桜とふくろうのマークは取るということで。メーカーさんとしてこだわりがあつたりとかしますか。特になければ、削除でいきますか。はい。

ママダ：はい。こだわりはございませんので、先ほどご指摘いただいた、春日もそうですけれども、みどりの学園のバックプリントも本当に学校名だけという、シンプルなものが多いのは現実ですので、3番の絵柄のふくろうと桜を抜いて差し替えということによろしいでしょうか。

委員長：ですかね。はい、ではそれで行きましょう。はい。あとあれですか、もしアンケートするなら、もう白文字だけになっていますけど、先ほどから入れるなら何かようなお話もあつたんですけど、何かその辺とかはどうなんですか。白が主流なんですかね、そこら辺の事例見ると。入れたら値段が上がるとおっしゃっていましたが、特に別に私もこだわってないんですけど、はい。

ママダ：はい。学校体操服では紺系、ブルー系が一般的に多いものですから、一色刷りというのは先ほど申し上げたように安価にできるということで、一色刷りが多いです。その中でやはり長袖の体操服については、白のマーキングを使っているのが多いです。

委員長：できないことないけど、値段も上がるし、やっているところはあまりないって形ですよ。

ママダ：はい。

委員長：なので、特に入れる必要はないと思いますけども、よろしいですか。

はい。もう、ホワイトでいく形で、はい。いきますか。はい。その他、どうでしょうか。またこちらはあれかな、他校との類似品とかの資料が制服と違ってないんですけども多分、春日とも違いますし、学森とも違いますし、みどりのともこの前のチェックで違うので、差別化といいますか、類似化は避けていると思いますので大丈夫かと思えますけども、どうでしょうか最後に、何か全体を通じてまた意見とかあればと思えますけどどうですか。よろしいですかね。そうしたらこのご提案通りで、あとはちょっと説明資料だけ修正していただく形でアンケートするっていう形で思えますけども、事務局はどうでしょうか。

事務局：最後に念のためといいますか、もう先ほどこっちといろんなところは確定しているんですけども、これ単色であれば 440 円ということなんですけども、他の色を使って単色であっても、一応 440 円ということでよろしかったですね。はい。

ママダ：対応可能な色で、単色であれば同じ価格でできます。

事務局：はい、ありがとうございます。

委員長：何か今の質問は意図があったりしますか。

事務局：一応、念のための確認になります。

委員長：わかりました。資料の半袖のバックプリントについては参考までに今の事例とかどうなっているんですかね。1色であれば値段は変わらないってことだったんですけど。

ママダ：半袖シャツは入れないって形ですか。前回の委員会の中では半袖の話は出なかったかと存じますので、はい今回のご提案は資料の中では半袖では抜いております。

委員長：はい。入れないってことで資料からも抜いていただくとはおっしゃっていましたが。はい。他皆様いかがでしょうか。気になる点とかありますでしょうか。よろしいですかね。はい。基本的にはご提案いただいた

通りだと思いますが、メーカーさん大丈夫ですか。

ママダ：はい。最後に1点、Tシャツのこの差し色といいますか、切り換えの色のところなんですけども、今ずっと提案させていただいているのが紺の切り換えのものをご提案させていただいているんですが、実は今、同時進行で、同じ小学校、香取台小学校さんで今ご提案させていただいている色の方も、実は同じ紺色のこの切り換えの色で、ほぼほぼ決まりそうな方向性にありまして、やはり今回、トレシャツの方へと切り換えの色が、ブルー系のお色を入れさせていただいているので、ブルー系のこの切り換えはいかがかなというところでちょっと一応確認とご提案ということで、お伝えできればとお伝えさせていただいたんですが。

委員長：半袖ってあんまり差が出ないんじゃないかと思うんですが、はい、ありがとうございます。香取台なので、ちょっと離れているから気にしなくてもいいのか、或いは、変えちゃうかっていうアンケートで聞くほどのことではないような気がするんですけど、どうですか。

委員：そうすると香取台と全く同じってなるんですか。

ママダ：そうですね。はい。商品そのまま全く同じというデザインになります。

委員：それでしたら個人的には、ご提案の色を変えるっていうのを、見てみたいなっていうところです。

委員長：はい、ありがとうございます。はい、お願いします。

委員：はい。私の意見としてはそこまで他校と区別化しなくてもいいんじゃないかなっていうところがあって、多分普通に真っ白のTシャツを着てくる子もいるかもしれないですし、紺が落ち着いていていいなと私的には思ったりもしていて、外側はいろいろこう考えて、みんなで作ったので、差別化できていると思う。区別化できていると思うんですけど、なので、内側いいんじゃないかなと思います。

委員長：はい。学森とか春日とか隣の学区なら変えたほうがいいかなと思います

すけど、どうでしょうか。香取台は離れているのと思っているので、どうですかね。色合いも変えたところでそんなに、大きな変化でもないような気がするんですけど、どうなんですかね。やっぱり色を変えると感じが違うんですかね。

ママダ：前回の資料の中でその T シャツの紺の選定にあたっては、結果的に投票の総数が多いということで、紺色でアンケートを採ろうということになった経緯があるかと存じます。現物がないので何ともお話し申し上げようがないんですが、やはりイメージ的にはブルーの切り換えですと、見た目はかなり変わってくるかと思います。お手元には、前回アンケートとりました水色しかないんですが、この部分が、ちょうど中間色のブルーという、色合いになるのでちょっと何かイメージしにくいかと思いますが、はい。

委員長：どうですかね。変えてもそんなに違和感もそこまでないのかなと思いますけど、そういう意味では分けたほうがいいような気もするなと思ったんですけどいかがですか。あんまり個人的にはどっちでもいいかなっていう感じなんですけど。どうでしょうか。真ん中の切り換えの青がそのことになるイメージですよ。みどりのさんののに似ている感じですかね。

ママダ：みどりの学園の方はもっと水色っぽい感じの半袖シャツで、どちらかというと、この色に近いですかね。

委員長：ありがとうございます。みどりのともちょっと区別も図れるということですね。はい。

委員：コロナ禍の前は小学校の陸上協議会みたいのがあって、一堂に会するみたいなことがあったんですね。やっぱりそういった時には、多少なりともまるっきり同じではない方がありがたいなとは思っています。今後ちょうど、右側のジャージの切り換えの青になるぐらいだったらそんなに違和感はないのかなと思うと、違う色も見たいっていう気持ちで私は聞かせてい

ただいていたところです。はい。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。そのままの左のやつ、色合いがみどりの
のがあれだからってということで、除外していったのでそれは少なくとも NG
だと思いますけども、先生がおっしゃった通り、真ん中、真ん中右のジャ
ージの上の色合いを指し色にするくらいであれば何か大きく変わるような
感じも個人的なしないので、そういう意味では、もし市全体の活動で集ま
ることとかもあるという先生の意見もありますので、変更していく形がい
いかなと思いますけどもいかがですか。よろしいですか。ちょっと学校側
の意見も踏まえて色合いは紺から、ちょっと明るい青っていうんですか、
に変わる方向でいければと思いますので、はい。他は大丈夫ですか。はい、
ありがとうございます。

ママダ：最後に1つ申し添えますけれども、先ほどの価格の件が出ておられま
したけども、前回、事務局からもあったかだと思いますけども、最終的な販
売価格というものにつきましては、当然これも高くなるということありま
せんけれども、このままズバリじゃないと、マーキングの手法等もこれか
らのご検討になるかと思いますが、そこのところをご理解いただければ
と思います。

委員長：はい。資料2なんかだと、もうちょっと参考価格ですとかを強調して
いただければどうかなと、我々は聞いたのでわかりましたけど、我々が説
明するわけではないので、資料を見て、理解してもらえるところが重
要になってきますので、全体を通じて資料の作り方だけもう少し、ブラッ
シュアップいただければなと思っていますので、はい。今、メーカーさん
が気になっているところは、大いに反映していただければと思いますし、
配布前に我々もチェックさせていただくように、先ほど事務局をお願いし
ていますので、それで、今言っていたことは反映していただければなと思
っています。

ママダ：はい、かしこまりました。

委員長：あ、はい。その他皆さんいかがでしょうか。よろしいですか。ですかね。事務局もどうでしょうか。大丈夫でしょうか。

事務局：はい。

委員長：体操服もこれで議論は終了ということで、はい。事務局にお返しすればよろしいですかね。はい。

事務局：はい、ありがとうございます。体操服メーカーさんお忙しいところお越しいただきましてありがとうございます。引き続き様の方よりしくお願いいたします。委員の皆さんにもう1点お願いがありまして、体操、制服のアンケートのところで、次回の委員会の方ですね、9月15日頃にZoomの方でというお話をさせていただきました。そのZoomの会議のところをちょっとスムーズに円滑にちょっと進めさせていただく関係でご検討いただければと思っているところがありまして、今回アンケートを踏まえて、次回の委員会で制服を1点選定していただくんですけども、アンケート結果がどういう結果が出たときに、どういう選定をするかっていうことにつきまして、例えば保護者、児童生徒が満場一致で1つのものが選択されればもうそれでいくのは、もちろんだと思うんですけども、例えば児童生徒はデザイン1が一番得票を得ていて、逆に保護者に関してはデザイン3の方がよかった時とか、アンケート結果で票が割れてしまった時に、どういう決断をして、そのデザインを選んでいくのかっていったところをですね、今日もし可能であれば意見交換をしていただいて次回の委員会のところで、スムーズに選定できればというふうに思っているんですけどもいかがでしょうか。

委員長：はい。ありがとうございます。これ今まで児童生徒もなんですかね、保護者がアンケート回答しているケースが多かったと思うので、親にお願いして回答しているケースも多々あったかと思うので、若干回答数が減っ

ていたのかなと思っているんですけども、今回のやり方だと、あれですか、もう担当の先生がある程度誘導される形をイメージされていますか。そうすると、回収数が多いのかなあと思ったりするんですけど、もしくは何か用紙を子供に渡して後は自由にやってくださいとかその辺ってどういうイメージされていますか。別に端末でも問題はないんです。

委員：ちょっとそこまで細部を詰めてなかったんですが、私はせっかく端末があるので、朝の会あたりで一斉にやれば、回収率も高いのかなあと、家ではやる必要はないかなというふうに考えていました。

委員長：はい、事務局大丈夫ですか。

事務局：GoogleForm でアンケートは作るんですけども、特にそういうところは問題ないですか。

委員：Teams の方で投稿して、このところに URL を貼りつければ大丈夫かなと思うんですが、子供たちの端末で GoogleForm を使えないっていうことはないです。

事務局：学校側ももう紙ではなくて、端末で回答という方がよろしければ、児童生徒の方も当初は事務局案では紙に書いてっていうところを想定したいんですけども、端末で例えば QR コードとか URL 読み取って、回答という形で問題ないですか。

委員：はい、ではその方向でお願いいたします。これまでの校名、校章と同様にですね、1年生から9年生まで対象として考えています。

委員長：はい。ICT 教育にぜひ活用して欲しいなと個人的には思っているところです。そういったところも含めて何か新しい学校の意味合いってあるのかなと思うので、ぜひやっていただきたいなと思った次第ですが、朝の会とかでお願いしてその場で回答してもらおうとなるとほぼほぼ 100%に近い回収率って考えていいですよ。そう考えると、保護者は代表で1人と考えると、保護者の回答は半分くらい。子供が複数通っていると、異なっ

くと思いますけども、そうすると圧倒的に子供の票がウエイトが大きくなってくると思うので、今までは半々ぐらいかなって感じで子供が意外と回答してなかったのかなと思ってまして、そういう意味では親の回答のウエイトが今回大分小さくなってくるのかなと思っているので、親にも聞いている以上、子供だけの意見をつていうのもおかしい気はちょっとするんですけど。そういう意味では両方まとめた形で、深く考えずに決めるつていうのも方法論としてあるかな。どうですか。いろいろこの辺は考えがあるので、何が正解つてわけではないと思うんですが、多分この前の制服でちょっと票が割れたので、事務局もそういう意見を言ってくれていると思うんですけどどうですかね。そうしたら、見てみないと何とも言えないと思うんですけど。もし割れた場合は、深く考えずに、積算でいくつうのを基本スタンスとしてさせてもらつて、差の開き方とか、票の割れ方とかを見ながら、せっかく委員会をやるので、委員会をやる前に結果を見ずに、全部決めるつていうのもおかしい感じがするので、基本スタンスとしては積算としてやるけども、最終的には委員会で結果を見て決めるつう形でよろしいですか。はい、お願いします。

委員：確認なんですけど、児童生徒つていうのはもう全児童生徒つてことですね。学校で研究学園に行く児童を場合分けするつていうことはできないつていうことなんですよね。実際に来る児童生徒の意見は尊重したいかなと思うんですけど。はい。やはり子供の学年とか、学区ら辺は今までのアンケートで親が代わりに回答していたのでアンケートで聞いていたと思うんですけども、子供だと難しいですよね。今までは住所を回答していましたよね。

委員：今までも一応児童生徒さんについてはGoogleFormを使っていたんですけども、保護者さんに付き添いのうえつていうところで、一応ご住所のところは選んでいただくような、項目を作っていたんですけども、そうする

と低学年の児童は自分の住所を選べるかっていうところはあるんですが、ちょっと誤差はあるかもしれないけど、住所、学年とかあれば、参考資料にはなるかなとは思いますが。

委員長：どうなんですかね、ここ。新設校の範囲が明確ではないので、地区の選択肢があるアンケートをしていたと思うんですけど、保護者は全然、構わないと思うんですけど子供とかであれば、地区を聞くより新設校に行く予定ですかくらいの方がシンプルだと思うんです。その位は親から聞いて子供も、多分低学年でも理解してるような気はちょっとしたんですけどどうですか。

委員：ご家庭でどこまで話題になっているかはわからないんですけど私は住所の方がまだ正確かなって感じがします。

委員：間違ってもいいから住所を聞けばいいと思っていて、なぜかという、親が答えている時だって審議のほどを確かめてるわけじゃないので、そもそもそれぐらいのものなので、もう間違っちゃったら間違っちゃったで、わからないならわからないっていう選択肢を用意すればいいんじゃないかなと思います。

委員：低学年の1年生、2年生でわからないの選択肢があっても、間違いなく、先生わかんない、僕どこって騒ぐ光景しか浮かばないです。何年生から住所を聞いてもいいのかって言われてしまうと、難しいんですけど、低学年に住所を聞くっていうことは、かなり時間がかかってしまって朝の会ではとても終わらないかなって思っています。

委員：登校班ならわかるんじゃないですか。マンションの名前とか入ってるじゃないですか。登校班のときだったら何番に並ぶとか、みんな覚えてると思うんです。

委員：例えば一部の1年生、2年生には、ここは回答しなくていいですよっていうふうに先生からも言ってもらうとか、もう3番目から始めましょうと

か、案内をしたらどうかと思うんですけども。

委員長：回答させないというかも、対象から外すかですね。学年を縛って聞くというのはあるかと思うんですけど、どうなんですかね。クロス集計的なものの条件の縛りが、大分変わってきちゃうので、結果、何を見て、最後判断するのが難しいなと思っているんですけど、ややこしいのであれば、単純にもう全数だけでいいかなとも思うんですけど、どうですか、複雑化して先生たちの負担が増えるなら元も子もないですし、新設校に通いたい人とそうでない人で、変わるものなのかもちょっとよくわからないんですけど、どうですかね。今までの傾向ってどうでしたっけ。そうですね。いろいろ意見は多分あると思うんですが、最終的に、何かあれば決められると思うので、全部でやりますか。はい。皆さん一応頷いているので。他、アンケートの細かいところまでは今の時点で記載がないので、気になっている点とかあれば、せっかくですので詰めておければと思いますけど、どうですか。事務局も何か確認しておく点とかありますか。

事務局：大枠のところはこれで承りました。こちらの方で急ぎ、案の方を作らせていただいて、皆さんに展開させていただいて、確認後、問題がなければ実施という形で進めさせていただきたいと思います。

委員長：ありがとうございます。そうしたら、皆さん大丈夫ですか。では案を作らせていただいてから、またキャッチボールさせていただいて実施という形でお願いできればと思います。以上です。

事務局：はい、委員長、進行ありがとうございました。議事の方、制服アンケート、体操服アンケートともに終了しました。最後に次回の委員会につきましてお伝えさせていただきましたが9月15日木曜日の18時半からZoomで、開かせていただいて、アンケート結果の確認と、制服、体操服の方ですね。そちらの方の選定というところをお願いしたいと思います。最後に何か皆さんからなければ、大丈夫でしょうか。本日も長時間にわたりまし

てありがとうございました。これをもちまして第 14 回（仮称）研究学園小
中学校開校準備委員会を終了いたします。ありがとうございました。

4 閉会